

製品づくり・利用部門 林野庁長官賞

Forest Good 2016 ～間伐・間伐材利用コンクール～

中林建設株式会社

(会社名・団体名等)

連絡先	(住 所) 〒556-0014 大阪市浪速区大国2丁目1番19号 (担当部署等) 土木部 (電話番号等) TEL: 06-6647-781 FAX: 06-6632-2136
-----	---

製品等の名称	間伐材を利用した斜面防護と森の再生を実現する 「全天候フォレストベンチ工法」
製品等名称の説明	コンクリートを使わずに自然との共生で斜面を守る斜面防護の新工法で、土留壁表面の間伐材使用と階段状水平面の植樹により、森の早期育成による自然環境を復元する取組。
取組のきっかけ	我が国の斜面防護の多くはコンクリートが使われているが、現地では森の環境の悪化と景観性の低下が指摘されることが多い。そのため、従来工法以上の斜面防護の機能を持ちながら、植樹と土留壁の化粧材として間伐材使用により、森の再生と景観性の向上を実現する工法を開発した。
製品等の内容・特徴	コンクリートを使わずにアンカーと透水性に優れた鋼製枠により斜面を階段状に造成して、高い安定性と遜色のない経済性を有する切土・盛土斜面の崩壊防止工法である。同時に、壁面化粧材として多くの間伐材を利用し、景観性の向上と間伐の促進を図るとともに、民有林地区では適正な価格で間伐材を購入するため、森林組合や林業事業者の負担軽減にも寄与できる。
間伐材の利用量	間伐材は主に針葉樹とし、100㎡施工当りの利用量は材積で約10㎡、φ150mm×L10mの樹木換算で56本を使用する。
取組による効果等	①コンクリートを利用せず間伐材使用と植樹により、自然景観の向上と森の再生が図られる。 ②実績として斜面約34,000㎡に当工法が採用され、間伐材の利用量は累計で材積約3,400㎡になり、換算すれば約19,000本、約7.6haで間伐が促進された。 ③地元住民からの高い評価や間伐材利用による森林所有者などの負担軽減により、地域住民参加型事業が実現する。
製品等の写真・図表	<p>(上) 施工直後と植樹後8年との比較 ↑ (右) 間伐材を取付けた壁面の状況 →</p>